

学校名 秩父市立荒川中学校  
 所在地 秩父市荒川日野23  
 電話 0494-54-1010

## 1 本校の概要

本校は、生徒数161名、学級数8（うち特別支援学級2）の小規模校である。学校教育目標「前進 根気 思いやり」、学校経営方針「為すことによって学ぶ」のもと、全校生徒が充実した生活を送っている。豊かな自然に囲まれ、強い絆で結ばれた地域である。教育熱心で、常に高い学力を示している。また、総合的な学習の時間では、地域指導者のもと「白久串人形」「神明社神楽」「農業体験」等に活発に取り組んでいる。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

読書活動を推進するために、図書室の整備をすると共に、読書週間を設ける等、読書への意欲を高めるための様々な取組を学校全体で実践していく。

### (2) 実践の概要

#### ア 図書室の環境整備

① 図書室の貸し出し回数を週6回に増やし、図書室の利用できる時間を拡大した。

② 図書室に常駐する司書の補助員に、図書室の整理、図書室にまつわる掲示物の作成・掲示を担当してもらい、図書室の環境整備をした。



#### イ 読書週間の取組

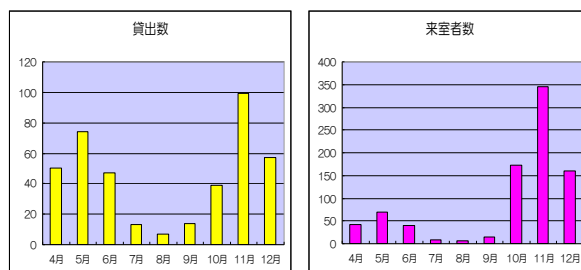
① 各学期に1回、2週間の読書週間を設け、読書量の調査、来室者数の調査、図書室・読書についてのアンケートを実施した。

② 1学期は沢山の本を読んだ生徒を表彰し、2学期は図書室の本を沢山借りたクラスを表彰した。



③ 全校生徒がおすすめの本紹介のポスターを作成した。図書委員は、読み聞かせや、ポスター・放送による、読書の推進活動を行った。

### ウ 本年度の貸出数・来室者数



## 3 成果と今後の課題

- 図書室の環境については4月に比べ、利用しやすい環境に変わった。図書の位置も分かりやすく整理され、学校の本が借りやすくなった。その成果はウの貸出数のグラフにも現れており、読書週間を行った月の貸出数が多くなっている。来室者数は、司書の補助員が環境整備を始めた10月から増えている。読書週間に読み聞かせ等の取組を行ったため、11月がもっとも来室者数が多い。
- 図書室が活発に動き出したことに伴って、図書委員の意欲が高まり、新たな取組をどんどん提案し楽しそうに実践している様子が見え始める。また、仲間の誘いにより読み聞かせの会に参加するなど、本への関心も高まっている。
- 図書室の開館回数が増えたことで、図書室の来室者が増えたが、本を借りない生徒もいる。借り方を知らない生徒もいるので、図書室利用のマナーを含め、全校生徒への周知が必要である。